

2017 国際大会選出役員

国際会長	ナレシュ アガワル Naresh Aggarwal (インド)
国際第一副会長	グッドラン ビョート イングバドター Gudrun Bjort Yngvadottir (アイスランド)
国際第二副会長	ジュン-ユル チョイ Jung-Yeol Choi (韓国) [崔 重烈]
国際第三副会長	ヘインズ タウンゼンド Haynes H. Townsend (米国)
国 際 理 事	
インド、南アジア、アフリカおよび中東 (2名改選)	Hastings Eli Chiti (ザンビア) Virinder "V.K." Luthra (インド)
カナダ(1名改選)	Tom Gordon(カナダ)
ヨーロッパ(3名改選)	William Galligani(フランス) Regina Risken(ドイツ) Sandro Castellana(イタリア)
東洋東南アジア(4名改選)	Yoshio Satoh [佐藤 義雄] (日本) Alice Chitning Lau [劉 小鋼](中国) Doo-Hoon Ahn(韓国) Dr. Datuk K. Nagaratnam(マレーシア)
南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ およびカリブ海諸島(1名改選)	Dr. Nicolás Jara Orellana (エクアドル)
アメリカ合衆国およびその領域、 バーミューダおよびバハマ (6名改選)	Ardie Klemish(米国・アイオワ州) Connie LeCleir-Meyer(米国・ウィスコンシン州) Don Noland(米国・ミズーリ州) Gwen A. White(米国・ノースカロライナ州) Patricia "Pat" Vannett(米国・ノースダコタ州) Nicolas "Nick" Xinopoulos(米国・インディアナ州)

以上



公式通達

2017年ライオンズ国際大会 米国イリノイ州シカゴ

以下の国際付則改正案が
2017年国際大会において提出され、代議員による票決の対象となります。

第1項：国際大会公式通達の規定を改め、公式通達をより早い時期に告示できるよう、国際大会開催60日前の交付を認める改正案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

2017～2018年度より、国際付則第6条第2項を、「40日」とある文言を削除し「60日」との文言に差し替えることにより、改正する。

可決

第2項：理事会構成に関して最近行われた国際会則改正に整合させるための改正案*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

2017～2018年度より、国際付則第2条第5項を、「14人の」とある文言を削除することにより、改正する。

可決

第3項：同一地区に所属する国際理事と執行役員が同時に国際理事会のメンバーを務めることを認める改正案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第2条第5項(c)を、「並びに理事」とある文言を削除することにより、改正する。

可決

第4項：国際役員候補者推薦の有効期間を、推薦に続く2回の国際大会から3回の国際大会に変更するとともに、国際理事候補者については、最初の推薦有効期間に選出されず、その後再度推薦を求める場合には、3年の期間を空けることを必要とし、また、国際副会長候補者については、連続2回まで認められる推薦有効期間に選出されず、その後再度推薦を求める場合には、3年の期間を空けることを必要とする改正案。*(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)*

国際付則第2条第4項(a)の二つ目の文節を、推薦の有効期間を推薦に続く2回の国際大会から3回に変更するべく、「2回」とある文言を削除し「3回」との文言に差し替えることにより、改正する。

さらに、国際付則第2条第4項を、(c)として下記を新たに加えることにより、改正する。

国際理事候補者の推薦は、候補者が他の条件において選出される資格を保持している限り、推薦に続く大会3回の間有効である。その最初の推薦有効期間中に選出されなかった候補者は、その後3年の期間を空けなければ再度推薦を求めることはできない。国際第三副会長候補者の推薦は、候補者が他の条件において選出される資格を保持している限り、推薦に続く大会3回の間有効であり、連続して2度の推薦が認められる。この有効期間中に選出されなかった候補者は、その後3年の期間を空けなければ再度推薦を求めることはできない。

可決

ナレシュ・アガワル
国際会長

ナレシュ・アガワル（インド・パンジャブ州バタラ）は、2017年6月30日から7月4日にかけて米国イリノイ州シカゴで開催された第100回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の会長に選出された。

アガワル会長は金属及び農産物を専門とする企業の会長。

1974年以來のバタラ・スマイル・ライオンズクラブの終身会員であり、クラブ会長や地区ガバナーなどの役職を立派に務め上げた。1989～90年度には、321複合地区のガバナー協議会議長も務めた。

1998年から2000年にかけて、国際理事に就任。グローバル会員増強チームのエリアリーダーとしての任期中には、大幅な会員増加を実現し、高い評価を受けた。3回の国際大会でDGEセミナーの講師及びグループリーダーを務めたほか、国際理事会アポインティ（3回）、グローバル指導力育成チームの会則地域リーダー（CA6）も経験している。

インド財団の理事及びライオンズクエスト副委員長であり、国の視力ファースト委員会でも委員を務めた。バタラで慈善事業を行うダイニク・プラーサナ・サバーの最高後援者であり、お年寄りの介護と福祉を行う慈善団体エイジケア・インディアの副会長である。その他多くの事業の理事や後援者を歴任している。

国際会長メダル（23回）と親善大使賞を受賞。

ライオンズクラブ国際財団の大ロリードギフト寄付者であり、人道支援パートナーでもある。

ライオンでありメルビン・ジョーンズ・フェローでもあるナヴィタ夫人とのあいだには、2人の息子と1人の娘、そして7人の孫がいる。アガワル会長の誕生日は、ライオンズクラブ国際協会の創設者メルビン・ジョーンズと同じである。